

探検部のラフティングチームが世界大会に出場しました

本学探検部のラフティングチームが、6月26日から7月1日(現地時間)、イタリア・ヴァルテッリーナで開催された「WRF ラフティング世界選手権2023」(世界ラフティング連盟主催)に日本代表として出場しました。

「ラフティング」とは、川下りの激流をゴムボートで下るレジャースポーツのことですが、その中でも競技ラフティングはただ川を下るだけでなくタイムを競うレース形式で、種目もスラローム、スプリント、ダウンリバーなどに細分化されています。

探検部は競技ラフティングに力を入れており、2013年には男子チームが同大会に出場し銅メダル2個獲得しており、それ以来の快挙(女子チームとしては本学初)となりました。

6月14日に女子チームの学生3名が結果報告のため学長室を訪問し、リーダーの溝手咲子さん(工学部・3年)は「大会中はうまくいかなかったこともありましたが、大学からの支援のおかげもあり結果を残すことができました。ありがとうございました」と感謝の気持ちを伝えました。

